

教科（科目）	地理歴史（歴史総合）	単位数	2単位	学年（コース）	1年次 履修
使用教科書	『わたしたちの歴史』（山川出版社）				
副教材等	なし				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自他を大切にできる豊かな心やコミュニケーション能力を育成します。 ②勤労観を身に付け、自立し、地域社会に貢献できる人材を育成します。 ③社会の変化に適応できる人間性と幅広い学びにチャレンジする精神を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①少人数制授業や授業における学びのユニバーサルデザイン化を図るとともに、ICT等を活用しながら基礎・基本の学びを展開し、個に応じた指導を行います。 ②二人担任制や充実した教育相談体制により、社会への適応力や規範意識醸成のために生徒に寄り添った生徒指導を実践します。 ③自他を尊重し、よりよい人間関係を築くことで協働的に学び合う学習に取り組みます。 ④地域と連携したキャリア教育を充実させるとともに、個別最適な学びにより、生徒一人一人の進路指導を行います。</p>

2 学習目標

<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。</p>
---

3 指導の重点

<p>就職希望者が大多数という実態から</p> <p>①世界的な広い視点から日本を捉えて、現代につながる近現代の基本的な歴史を理解させることを目指す。</p> <p>②歴史に関する基本的な諸事情についての理解を通して、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深めることを目指す。</p>
--

4 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。</p>	<p>近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。</p>

5 評価方法

各観点における評価方法は次のとおりです。			
	知識・技能 a	思考・判断・表現 b	主体的に学習に取り組む態度 c
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテストの分析</li> <li>観察、表現の観察</li> <li>授業プリントや課題などの提出物などの内容の確認などから、評価する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ペーパーテストの分析</li> <li>授業中の発言などの観察</li> <li>授業プリントや課題などの提出物などの内容の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業中の発言などの観察</li> <li>授業プリントや課題などの提出物などの内容の確認などから、評価する。</li> </ul>

6 学習計画

月	単元名	学習活動（指導内容）	時間	評価の観点	評価方法
4	18世紀の世界とアジア	①18世紀のアジアにおける経済や文化の発達と同時代のヨーロッパ諸国の対外進出との関係について考察する。 ②江戸時代の日本における産業の発達と全国市場の形成を、いわゆる「鎖国」体制と関連付けて考察し、理解する。	6	ab bc abc	ワークシート （記述の点検・確認） 振り返り （記述の点検・確認） 確認問題 （記述の点検・確認）
	産業革命	①産業革命がイギリスにおける綿工業を中心とした技術革新から始まったことを理解する。 ②産業革命による工業生産の機械化・大規模化と世界の結びつきの変化について考察する。 ③産業革命による社会や暮らしの変化、民衆の反応について考察し、理解する。			
	アヘン戦争と日本	①18世紀以降、日本近海に外国船が現れるようになった理由について考察する。 ②アヘン戦争のおきた原因と戦争後の中国の変化や欧米諸国の東アジア進出について考察し、理解する。 ③アヘン戦争に清が敗れたことが、江戸幕府の対外政策に与えた影響について考察する。			
	日本の開国	①ペリー来航の背景とそれに対する江戸幕府の対応を理解する。 ②開国や通商開始にあたり、日本が結んだ条約の特徴について考察し、理解する。 ③開国後における洋学の発達を理解する。			
5	日本開国期の国際情勢	①日本が開国した頃、世界各地で数多くの戦争や反乱がおこっていた理由を考察し、理解する。 ②世界各地でおこっていた戦争や反乱が、開国後の日本に与えた影響を考察し、理解する。	7	ab bc abc	ワークシート （記述の点検・確認） 振り返り （記述の点検・確認） 確認問題 （記述の点検・確認）
	開国後の日本社会	①開港が当時の社会にどのような影響を与えたかを考察し、理解する。 ②開港前後における日本の政治状況について理解する。 ③対外貿易の影響が倒幕運動にどのように結びついたのかを考察し、理解する。			
	市民革命と国民統合	①18世紀後半以降の欧米諸地域で市民革命がおこった背景について考察し、理解する。 ②アメリカ合衆国の独立以後、大西洋を囲んだ諸地域で革命や独立運動が連鎖したことを理解する。 ③フランス革命とナポレオンの活動が国民国家形成を促したことを考察し、理解する。			
	明治維新	①江戸幕府の滅亡から明治政府成立の過程を理解する。 ②明治新政府がどのようにして天皇中心の新国家を建設したかを考察し、理解する。			
	富国強兵と文明開化	①明治政府の進めた富国強兵の具体的な内容を理解する。 ②欧米の産業技術の導入が日本の文化や生活に与えた影響について考察し、理解する。			

6	日本の明治初期の外交	①明治初期の日本が抱えていた外交課題について考察し、理解する。 ②明治政府の外交が欧米と近隣諸国とは異なっていたことを理解する。 ③明治初期の外交によって、日本の領域が画定したことを理解する。	5	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	大日本帝国憲法の制定	①自由民権運動が始まった背景やその後の展開について考察し、理解する。 ②大日本帝国憲法が制定される過程と憲法の内容を理解する。 ③大日本帝国憲法の特徴について考察し、理解する。			
	日本の産業革命と日清戦争	①明治期の日本で進展した産業革命の背景や特徴について考察し、理解する。 ②日清戦争がおこった背景と戦争の経過および講和条約の内容を理解する。 ③日清戦争に勝利した日本に対する列強の反応について考察し、理解する。			
	前期中間考査				
7	帝国主義	①第2次産業革命と帝国主義の関係を理解する。 ②帝国主義時代における世界分割の特徴や列強間の国際関係の再編を考察し、理解する。 ③中国は独立を維持していたが、勢力圏の形成という形で列強の進出を受けていたことを理解する。	7	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	日露戦争と韓国併合	①日露戦争から韓国併合に至る過程について理解する。 ②日露戦争の勝利がアジア諸地域に与えた影響について、中国を具体的な事例として考察し、理解する。 ③日清戦争と日露戦争の時期に日本が不平等条約の改正に成功したことを理解する。			
	大衆運動の芽ばえ	①日露戦争後における日本の東アジア進出と列強の反応について考察し、理解する。 ②日露戦争後の世界的な大衆運動について、具体的な事件に即して理解する。 ③大衆運動と大正デモクラシーとの関係について考察し、理解する。			
	第一次世界大戦	①第一次世界大戦がおこった背景について考察し、理解する。 ②第一次世界大戦の開戦から終結までの経過を理解する。 ③第一次世界大戦の「総力戦」としての性格について考察し、理解する。			
	第一次世界大戦と日本	①日本が第一次世界大戦に参戦した背景と欧米諸国の反応について考察し、理解する。 ②第一次世界大戦中と大戦後で日本の経済状況が大きく変化した要因について考察し、理解する。			
ロシア革命とその影響	①社会主義の特徴とこれが誕生した背景を理解する。 ②ロシア革命がおきた原因と革命の経過について考察し、理解する。 ③ロシア革命に対する欧米諸国の反応とロシア革命が世界に与えた影響について考察し、理解する。				

9	社会運動の広がり	①第一次世界大戦後の世界で人々の権利意識が高まった背景について考察し、理解する。 ②権利意識の高まりのなかで日本でも普通選挙が実現したことを理解する。 ③米騒動以後、日本国内でも多様な社会運動が展開したことを理解する。	7	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	国際協調	①ヴェルサイユ体制とワシントン体制の特徴を理解する。 ②ヴェルサイユ体制がドイツに与えた影響について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後の世界における日本の国際的地位の変化を理解する。			
	アジアの民族運動	①第一次世界大戦後のアジア諸地域における民族運動について、地域ごとの特徴を考察し、理解する。 ②アジアの諸地域の民族運動が、その後の歴史に与えた影響について考察し、理解する。			
	大量生産・大量消費社会	①第一次世界大戦後におけるアメリカ合衆国の経済的繁栄が大量生産・大量消費社会を生み出したことを理解する。 ②大量生産・大量消費社会の抱える負の側面について考察し、理解する。 ③第一次世界大戦後における日本の都市化と都市を中心とした生活や社会の変化を理解する。			
	世界恐慌	①世界恐慌がおきた原因とその後の各国の対応について考察し、理解する。 ②1920年代の日本の経済状況について考察し、理解する。			
	独裁勢力の台頭	①第一次世界大戦後のヨーロッパでファシズムと呼ばれる政治体制が成立した原因とその特徴について考察し、理解する。			
	前期期末考査		1	ab	ペーパーテスト
10	独裁勢力の台頭	②独裁政権が人々の支持を得た要因とその過程や影響について考察し、理解する。 ③スターリン支配下のソ連の政治体制を理解する。	7	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	日本のアジア侵出	①袁世凱の死後、中国国民党を中心に国内の統一が進められた過程を理解する。 ②中国統一の進行に対する日本の反応を考察し、理解する。 ③日本で軍部が台頭した背景とその影響を考察する。			
	第二次世界大戦	①第二次世界大戦のおきた原因をドイツの領土拡大と関連付けて理解する。 ②第二次世界大戦の経過をドイツの行動を中心に理解する。 ③第一次世界大戦と第二次世界大戦の共通点と相違点について考察する。			
	第二次世界大戦と日本	①太平洋戦争勃発に至る経緯を理解する。 ②日本の戦争目的と占領地における政策を考察し、理解する。 ③戦局の悪化に対する日本政府や軍部の対応と国民生活の変化について理解する。			
	第二次世界大戦の終結	①ヨーロッパ戦線でイタリアとドイツが敗戦に至った過程を理解する。 ②日本が敗戦に至った過程を理解する。 ③第二次世界大戦による被害や犠牲について考察する。			
	戦後国際秩序	①国際連合とブレトン=ウッズ国際経済体制による戦後秩序の特徴を理解する。 ②国際連盟と国際連合の共通点と相違点について考察し、理解する。 ③敗戦国における戦後処理の特徴について地域ごとに理解する。			

11	冷戦の始まり	①冷戦前のヨーロッパにおける政治状況を理解する。 ②ヨーロッパにおける冷戦開始の背景とその後の東西両陣営の動向について考察し、理解する。 ③冷戦がアジアの国家建設にも影響を与えたことを理解する。	7	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	日本の戦後改革と日本国憲法	①GHQによる占領政策の特徴を理解する。 ②戦後改革の目的と成果について考察し、理解する。 ③日本国憲法の制定過程や憲法の特徴について理解する。			
	日本の独立	①東アジアにおける社会主義の台頭が占領政策の転換をもたらしたことを理解する。 ②朝鮮戦争と日本の独立との関係を考察する。 ③サンフランシスコ平和条約による日本の独立とその後の問題点について考察し、理解する。			
	第三世界の登場	①第二次世界大戦後におけるアジア諸地域の独立過程を理解する。 ②アジア・アフリカ諸国の独立過程で、生じた問題について考察し、理解する。 ③アジア・アフリカ諸国が第三世界として連帯した背景について考察し、理解する。			
	冷戦の固定化と「雪どけ」	①冷戦構造の拡大と固定化が核軍備拡大競争につながったことを理解する。 ②「雪どけ」が東西両陣営に与えた影響について考察する。 ③ラテンアメリカと冷戦の関係を理解する。			
	後期中間考査		1	ab	ペーパーテスト
12	冷戦の展開	①「雪どけ」からスターリン批判に至るソ連の政策転換の概要を理解する。 ②スターリン批判や平和共存に対する東側陣営の反応について理解する。 ③キューバ危機を境に核軍縮が徐々に進んだ理由を考察し、理解する。 ④スエズ戦争の概要について理解する。	6	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	55年体制と安保闘争	①冷戦構造が戦後日本の政治に与えた影響について考察し、理解する。 ②日本の国際社会復帰を軸に独立後の外交の特色について理解する。 ③新安保条約をめぐる安保闘争の経過について理解する。			
	高度経済成長の光と影	①高度経済成長の過程を理解する。 ②高度経済成長による日本人々の生活様式や意識の変化を考察する。 ③高度経済成長のひずみやその対策について考察し、理解する。			
	ベトナム戦争とアメリカ	①ベトナム戦争が北側の勝利に終わった要因について考察し、理解する。 ②アメリカ国内の公民権運動とベトナム反戦運動が連動していたことを理解する。 ③ベトナム戦争に苦戦したことからアメリカの対東アジア政策が転換したこと理解する。			
	経済構造の変化	①ドル＝ショックがおきた原因と国際経済の変化を理解する。 ②第1次石油危機の背景と影響を考察し、理解する。 ③第2次石油危機の原因を理解する。			

1	日本の経済大国化	①日本が安定成長の時代に経済大国化した過程を理解する。 ②日本の経済大国化と貿易摩擦の関係について考察し、理解する。 ③安定成長からバブル景気に至る過程とバブル景気崩壊後の経済の低迷について理解する。	7	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	アジアの経済成長	①アジアで経済成長を成し遂げた国や地域の特徴について考察し、理解する。 ②NIESやASEANの概要を理解する。 ③発展途上国の一部が成功したことから生じた新たな問題を理解する。			
	社会主義の停滞と新自由主義	①社会主義が停滞した原因について考察する。 ②新自由主義の特徴と問題点を理解する。			
	冷戦の終結	①ゴルバチョフの改革と東ヨーロッパ諸国の民主化の連動を考察し、理解する。 ②冷戦の終結がソ連の解体につながったことを理解する。 ③ヨーロッパとは異なり東アジアでは社会主義体制が維持されたことを理解する。			
2 ～ 3	冷戦後の地域紛争	①冷戦終結後に世界各地で地域紛争が頻発した背景について考察し、理解する。 ②世界の紛争をおさえ、世界平和を実現するために日本が果たすべき役割を考える。	6	ab bc abc	ワークシート (記述の点検・確認) 振り返り (記述の点検・確認) 確認問題 (記述の点検・確認)
	地域統合	①冷戦終結後の世界で地域連合の役割が大きくなったことを理解する。 ②現代の地域連合の特徴について考察し、理解する。			
	現代世界の諸課題	①現代世界の諸課題と解決に向けての方策について考察し、理解する。 ②多文化主義や少数者の権利確保の理念を理解する。			
	日本の諸課題	①55年体制崩壊後の日本の政治の大まかな動きをバブル景気崩壊後の経済状況と関連付けながら理解する。 ②現在の日本が抱える諸課題を知り、可能であれば歴史的経緯もふまえて問題解決の方法を考える。			
	後期期末考査		1	ab	ペーパーテスト

計 70 時間 (50 分授業)

## 7 課題・提出物等

- ・毎回の授業でワークシートを配布し、授業の最後に提出してもらい、取り組み状況などを確認していきます。
- ・単元の終わりには、振り返りをまとめてもらい、この単元で学んだことを確認してもらいます。
- ・定期的に確認問題に取り組んでもらいます。理解の確認のきっかけにします。
- ・授業の取り組み状況や提出状況などすべての取り組みを評価していきます。

## 8 担当者からの一言

歴史を学ぶことで広い視野を持ち、様々な事象を多面的・多角的に考えることが出来るように学びを深めていきましょう。また、自国はもちろん、他国の歴史・文化を尊重することの大切さについても学んでいきましょう。